

川崎市立看護大学 (神奈川県川崎市)

実施日：2023年1月17日(火) 13:30~14:30

講師：ユースキン製薬(株)企画部社員1名 参加者：教職員3名/学生14名



■講師の感想

看護大学の1年生という事もあり、手指衛生遵守とはどういう意味なのか、なぜ感染対策にハンドケアが必要なのか、皮膚の構造とひび・あかぎれの定義、クリームの適切な量と塗り方について講義しました。

また、ハンドケア手技の実践については学習した内容を忠実に再現することで、肌水分が上昇する瞬間、歓喜に沸いていました。将来の看護師として大成することを祈るばかりです。



■大学教授の感想

学生自治会地域貢献委員の看護学生が、地域との交流を目的に、小倉地区でハンドマッサージを実施する予定です。今回の講習では、皮膚の構造、ハンドケアの効果、自分で実施するハンドケア方法などを学ばせていただきました。この学びは、学生が地域でハンドマッサージをする時、演習や実習時、将来看護職として働く際に活かすことができると考えます。根拠を示しながら、ハンドケアの大切さを説明できる第一歩になったと考えます。



■講習会参加者の声

- 写真や図を用いた講義、セルフハンドケア演習の体験により、ハンドケアの大切さを改めて考える良い機会となりました。老年看護では、高齢者の予防的スキンケアが重要となります。その1つである、高齢者の皮膚の保湿に今回の学びを活かしていきたいです。また、高齢者自身が自分で取り組むハンドケアも、地域や介護施設では有効ではないかと考え、機会があれば、実践してみたいと思いました。
- 保湿のためにハンドクリームを塗っていましたが、正しい塗り方ができていなかったと知り驚いたのと同時に、勉強になりました。今後は、正しい塗り方で肌のケアをしたいと思いました。
- 自分の手は潤っていると思っていましたが、肌水分計で実際に測ってみたら以外と乾燥していることに驚きました。また、ハンドケア実施前後に肌水分を測定しデータで示してもらえるので、効果がより実感できました。
- これまで様々なハンドクリームを試してきましたが、指定医薬部外品や化粧品など分類されていることは知りませんでした。今後は、分類や成分表示を見て選びたいと思います。

